

2020 年度研究報告書

採択課題：中東国際政治における主要地域大国と域外大国の関係をめぐる実地調査と対話

代表者：池内恵（先端科学技術研究センター教授）

全体像：

コロナ禍による渡航制限のため、本来の「キャラバン」の主旨である各国訪問ができなかったが、その代替として、オンラインでの研究交流を大規模に開催し、イスラエル、UAE・エジプト、トルコの大学・研究機関やメディアとの関係を構築し、頻繁で密接な国際研究協力を実現した。

1. 実施体制

研究代表者の池内恵が、共同研究者の川島真教授（総合文化研究科）、小泉悠特任助教（先端研）、周俊宇特任研究員（先端研）と共に全体の推進に当たり、個別プロジェクトに関して、辻田俊哉特任助教（非常勤・先端研）や山城貢司特任研究員（先端研）等が推進を担った。

GSI キャラバンの事業は、池内研が主導して 2020 年 9 月 1 日を目処に先端研に設立した ROLES（先端研創発戦略研究オープンラボ RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies）の事業の一部として推進された。

予算としては、GSI キャラバン経費に加え、外務省外交・安全保障調査研究補助金、先端研の RCAST 助成、総長裁量経費を充てた。

2. キャラバンによる訪問を代替するオンラインの国際会議・ウェビナーの開催

（1）イスラエル・テルアビブ大学との戦略対話・地域情勢共同分析

ウェビナーの開催

2020 年 12 月 2 日 共通テーマ：After the U.S. Presidential Election: East Asia and the Middle East between the Coronavirus and the Sino-American Rivalry

2021 年 3 月 1 日 共通テーマ：Israeli Normalization with Gulf and North African Arab States

（2）イスラエル・ヘブライ大学との思想対話

（担当：山城貢司特任研究員）

2020 年 10 月 26 日（月）・11 月 2 日（月）

メナヘム・キステル教授（ヘブライ大学）によるユダヤ知恵文学についての連続研究セミナー

2020年12月27日（日）・2021年1月3日（日）

メイール・バルアシエル教授（ヘブライ大学）によるクルアーン学に関する連続講義

2021年2月7日（日）・2月14日（日）・2021年2月21日（日）

アヴィシャイ・バルアシエル博士（エルサレム・ヘブライ大学）の古典カバラー連続ワークショップ

2021年3月5日 特別講演「アブラハム一神教の比較研究：ヒューリスティックな利得と認知的陥穽」

グイ・ストロムザ教授（エルサレム・ヘブライ大学／オクスフォード大学名誉教授）

（3）「イスラエル・ウィーク@東大駒場リサーチキャンパス」の主催

（担当：辻田俊哉特任助教）

上記（1）（2）を含む、3月1-5日の計6回のウェビナーで、イスラエルのサイバー防衛政策、コロナウィルス・ワクチン政策、STEAM教育、科学とデザイン等に関するウェビナーを開催した。

（4）UAE/エジプト・IGSDAとの協力による国際ウェビナー・シリーズ（4回）開催

UAE アブダビを拠点としたエジプト人の安全保障研究者とのネットワークとの交流により、拡大中東地域の安全保障上の課題に関する4回の国際会議（Zoom）を開催した。

（5）トルコ・バシケント大学との協力による英語書籍出版

バシケント大学戦略調査研究センター顧問のエルジャン・チトリオール氏による紹介で、トルコの有力出版社 Destek 社から、池内による中東・東アジア関係をめぐるコメントリーを集成した英語書籍の刊行を行なった（2021年3月に校了、4月刊行予定）

Satoshi Ikeuchi, *How Did We End Up Here? Understanding A Japanese Perspective of the Last 3 Years of World Politics*, Istanbul, Destek, 2021.